

「人間関係づくりの演習と道徳②」

～「協力する活動」と道徳授業を組み合わせ～

土田 雄一

4年生の重点主題に「みんなのために何ができるか」がある。「22 祭りの日」「23 仲間がいるから」「24 協力調査隊」の3資料によって構成され、協力の意義を知り、自分たちの心の中に協力の心と力を実感することをねらいとしている。

集団の一員として、周囲とコミュニケーションをとり、折り合いをつけて（合意形成をして）目標に向かって、力を合わせて活動する力こそ、社会で生きる力である。

今回は、協力することの楽しさと難しさを実感する人間関係づくりの演習を紹介する。

協力を実感する「みんなでホールインワン」

この演習はやってみると意外とむずかしくおもしろい。自分一人ではできない。他のメンバーとの協力・サポートが不可欠な演習である。

1 ねらい

ピンポン球をねらったホールにコントロールすることで、協力する力を育てる。

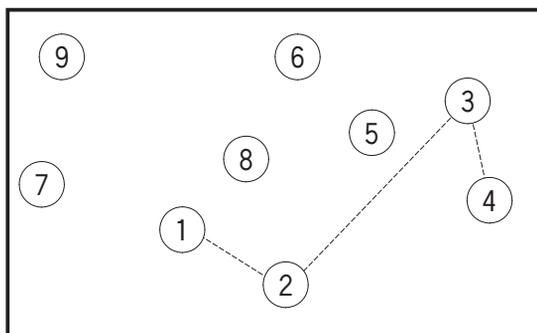
2 やりかた（4人1グループ程度）

新聞広告などで作った、穴が9つあいた「みんなでホールインワン」シート（図）とピンポン球を用意する。（穴の大きさは十円玉程度）

シートの縁を4人で持ち、ピンポン球を1番ホール→2番ホール……と順番に穴へ入れる演習である。途中で球がシートの外に出たら、1つ前のホールに球を置いて再開する（4番ホールをめざしていたときに落ちたら、3番ホールに球を置いて再開）。9ホール回るまでかかった時間を競う演習である。

※ルールとしてシートを持つ手は移動させてよいが、球に触れてはいけないことを確認する。

「みんなでホールインワン」のコースシート（例）



時間を縮めるためにはどうしたらよいか話し合ったり、声をかけあったりする等の活動があるので、協力する意識が高まる。



「自分たちでコースを創る」活動のすすめ

発展として「自分たちでコースを創ろう」と投げかけると協力する活動がさらに充実する。

4年生では「〇〇県一周コース」や「日本一周」のほか、「人体一周（口→胃等）」など、特色のあるコースプランをグループごとに話し合い、合意形成しながら楽しく活動する姿がみられた。

道徳の時間と関連させる

前述の重点主題「みんなのために何ができるか」と関連させて実施すれば、ねらいに「実感をもって」せまることができる。その他の学年でも「協力」を主題としたものであれば、関連した活動として活用できる。この際、作業の途中での振り返りや道徳授業での体験の振り返りを意図的に行うとより効果的である。

※参考文献：生井久恵「みんなでホールインワン」土田雄一編著『100円グッズで授業づくり』（図書文化）